

# 「大川の駅」全体計画 〈ダイジェスト版〉

## 背景と目的

全体計画P1

大川市では、「環有明海地域」において、有明海沿岸道路、九州佐賀国際空港、三池港といった重要なインフラが揃いつつある今、産業・観光振興を柱に、関係自治体との連携を強化し、この地域の一体的な経済的浮揚を図ることにより、福岡都市圏、北九州都市圏に匹敵する経済圏域を形成することを目指しており、この目標を実現する手段の一つが、「大川の駅」構想です。

この構想は、「道の駅」と「川の駅」の機能を併せ持つ、大川市が誇るインテリア産業や「環有明海地域」のものづくりに視点を当てた広域的な産業・観光振興に資する拠点の整備構想です。

## 「大川の駅」の位置づけ（「大川の駅」に求められていること）

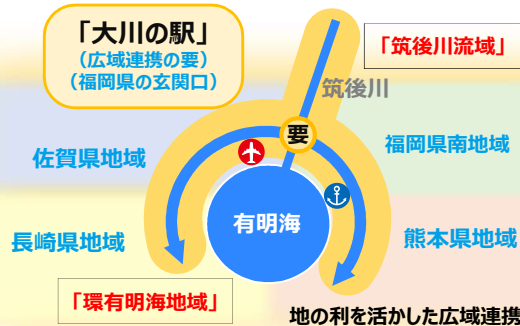
全体計画P18

- 福岡県の玄関口として国内外の多くの人に来てもらい、地域の人にも愛される常に人が集い賑わう場を創出する。
- 有明海・筑後川の雄大な景観を保有するこの地域特有のユニークな自然資源を活かし、くつろぎ、癒される水辺空間を創出する。
- 受け継がれてきた大川の「匠の技」や「伝統文化」、その価値をより一層高めるとともに、「ものづくり」を牽引する拠点として、地域産業の未来が見える場を創出する。
- 島全体の活用と既存施設との連携により、地域を一体的に楽しめる魅力ある多様なサービスを提供するとともに、地域の人々が携わり活躍することにより、経営的にも自立した運営を行う。
- 筑後七国をはじめとする「環有明海地域」や筑後川流域と連携し、この地域の食・文化・ものづくりなど多くの魅力を発信する、持続的に地域の発展を支える拠点となる。
- 災害時には、有明海沿岸道路を軸とする広域的な防災拠点並びに大野島・大詫間地域の防災拠点として機能する。

## 基本理念

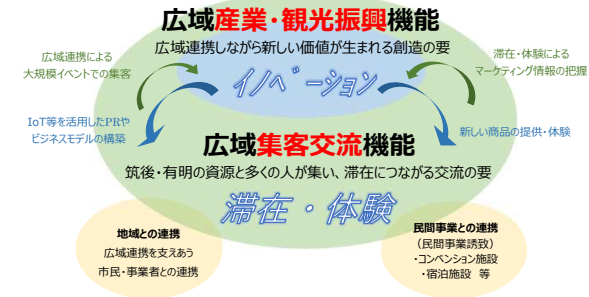
全体計画P19

古くから筑後川の水運に恵まれ、ヒト・モノ・コトが行き交い栄えた大川市地の利を活かした集客・交流拠点として、さらには大川市とこの地域の「ものづくり」に大きなうねりを起こす核となり、かつて、先人たちが想い描いた「環有明海地域の『扇の要』」を実現させる



## 「大川の駅」の構成

「大川の駅」は、「広域集客交流機能」と「広域産業・観光振興機能」を有し、互いに相乗効果を生み出し合うことで産業・観光イノベーションを起こし、筑後七国をはじめとする「環有明海地域」や筑後川流域における広域の要として存在し、地域振興に資する施設とします。



全体計画P21

## 事業コンセプト

「食」×「ものづくり」×「島」×「水辺」  
有明海、筑後川、筑紫平野に囲まれて  
たのしく、あそび、くつろぐ  
「環有明海地域」や筑後川流域の体感型情報発信ステーション



## 広域連携のあり方

全体計画P24

広域連携により、筑後七国をはじめとする「環有明海地域」や筑後川流域の産業・観光をイノベーションする

### 有明海・筑後川の魅力発信

- ◇広域的な産業・観光資源をテーマにしたイベント開催
- ◇広域的な産業・観光の情報発信

### 大川の拠点性を活かしたビジネス開拓

- ◇新しいビジネスモデルの構築
- ◇ニーズをダイレクトに反映した新しい商品やライフスタイルの提案

### 県境をもまたいだマッチングとイノベーション

- ◇地域・広域の官民連携による産業・観光振興
- ◇ビジネスマッチングなど経営サポートによる地域企業・個人事業者の支援



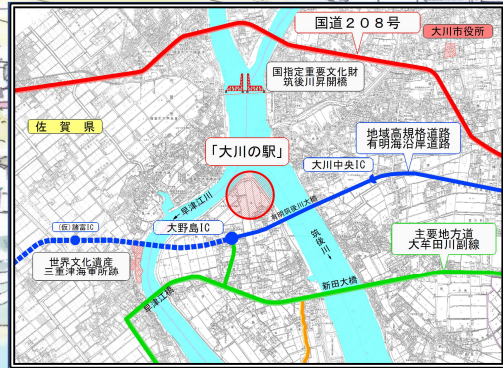
※図に示す機能はあくまで現段階での想定であり、規模や配置などは今後の検討の中で変更することがあります。

「水辺」  
の魅力  
を  
体感する

筑後川や有明海を活かした「水辺」の魅力を体感してもらう

〈方向性〉

- ◇ 筑後川や昇開橋、導流堤など自然環境や文化財、歴史的背景がある景観を楽しめる。
- ◇ 水辺空間で遊び、くつろぎ、自然を学ぶことができる。
- ◇ 有明海や筑後川などでのレクリエーションを充実させる。
- ◇ 若津港、大川テラツツアなどの船での往来で周辺地域に賑わいを波及させる。



「大川の駅」位置図



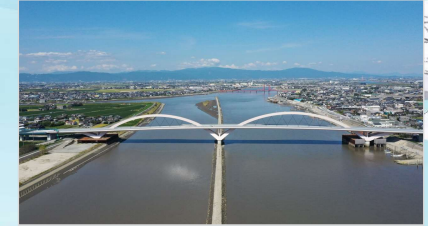
筑後川昇開橋

地域の  
「食」  
を味わう

筑後七国をはじめとする「環有明海地域」や筑後川流域の「食」を堪能してもらう

〈方向性〉

- ◇ 筑後七国をはじめとする「環有明海地域」や筑後川流域の広域の「食文化」を楽しめる。
- ◇ この地域の農水産物や商品を買ってもらう。
- ◇ この地域一帯が連携し、新しい商品のブランディング・開発を行う。



有明筑後川大橋



「島」  
の環境を  
楽しむ

大野島一带を使って川に囲まれた特別な環境を楽しみながら滞在してもらう

〈方向性〉

- ◇ 一人でも、ファミリーでも1日楽しめるコンテンツを充実させる。
- ◇ 木製遊具など、大川らしさを感じながら楽しめるアミューズメント機能を整える。
- ◇ 遊歩道やサイクリングロードなどを整備し、近隣の運動公園などと連携し大野島一帯を楽しむ。
- ◇ 自然に囲まれ、夜の景色も楽しみながら、ゆっくりと滞在でき宿泊もできる。

「ものづくり」  
の良さを  
感じる

暮らしに彩りと潤いを与える「ものづくり」の良さを感じてもらおう

〈方向性〉

- ◇ 筑後七国をはじめとする「環有明海地域」や筑後川流域の家具、什器、内装、照明、食器などを実際に使ってもらうことで、「ものづくり」の良さを体感してもらう。
- ◇ この地域の家具や工芸品、名産・特産品を買っていただき、気に入ったものを自分の暮らしに取り入れられる。
- ◇ この地域一帯が連携し、「ものづくり」の魅力を高め、情報発信する。
- ◇ ビジネスチャンスが生まれ、この地域のものづくり産業の未来につながる。
- ◇ この地域の仕事に触れることで、ものづくりの技術や良さ・楽しさを体感できる。

※イメージパースは、あくまで現段階での想定であり、今後の検討の中で変更することがあります。  
※施設のデザインは今後検討します。